

**特定健診、特定保健指導の
具体的な事業評価の支援**

世界遺産
蘆山反射炉

世界農業遺産
茶草場農法

ワールドカップ会場
エコパスタジアム

世界文化遺産
富士山

ユネスコ登録
南アルプス

世界ジオパーク申請中
伊豆半島

平成29年6月
静岡県健康福祉部
土屋 厚子

唐奨
本庶 佑

ノーベル賞
天野 浩

1

目次

- 健康寿命の状況
- 特定健診、特定保健指導の評価について
- 地域の健康状況→特定健診データの見える化
- 県が国民健康保険の医療保険者(平成30年度から)

2

静岡県の健康寿命

- 静岡県は男女ともに健康寿命が常にトップクラス

| 男性 | | | 女性 | | | 男女計 | | |
|----|-------|-------|----|-------|-------|-----|-----|-------|
| 順位 | 平成22年 | | 順位 | 平成22年 | | 順位 | 男女計 | |
| 1 | 愛知 | 71.74 | 1 | 静岡 | 75.32 | 1 | 静岡 | 73.53 |
| 2 | 静岡 | 71.68 | 2 | 群馬 | 75.27 | 2 | 愛知 | 73.34 |
| 3 | 千葉 | 71.62 | 3 | 愛知 | 74.93 | 3 | 群馬 | 73.20 |

| 平成25年 | | | 平成25年 | | | 男女計 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|
| 順位 | 平成25年 | | 順位 | 平成25年 | | 順位 | 男女計 | |
| 1 | 山梨 | 72.52 | 1 | 山梨 | 75.78 | 1 | 山梨 | 74.19 |
| 2 | 沖縄 | 72.14 | 2 | 静岡 | 75.61 | 2 | 静岡 | 73.90 |
| 3 | 静岡 | 72.13 | 3 | 秋田 | 75.43 | 3 | 宮崎 | 73.67 |

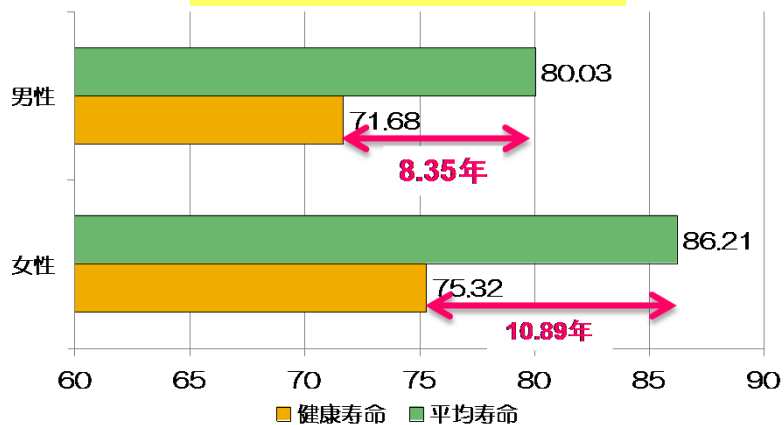
出典：H22,25厚生労働省公表値。男女計は県で独自算出（単位：年）

3

健康経営を推進する背景

- 日常生活が制限される期間は男性で約8年,女性で10年以上

静岡県の健康寿命と平均寿命



出典：厚生労働科学研究班（2012）

4

介護給付費の増加

■ひとり暮らし高齢者の増加 (千世帯)

| | 2005 (H17) | 2015 (H27) |
|------------|---------------|---------------|
| 総世帯数 | 1,407 | 1,533 |
| 高齢者のみ世帯 | 199 | 346 |
| 一人暮らし高齢者世帯 | 100 | 182 |
| 総世帯に占める割合 | 6.5% | 11.9% |

■介護給付費の増加

| | 2005 (H17) | 2015 (H27) |
|-------|---------------|---------------|
| 介護給付費 | 1,649億円 | 2,775億円 |
| 県負担分 | 206億円 | 391億円 |

介護給付費の県費負担は、ひと月あたり32.6億円!!
⇒10年前の1.9倍!!

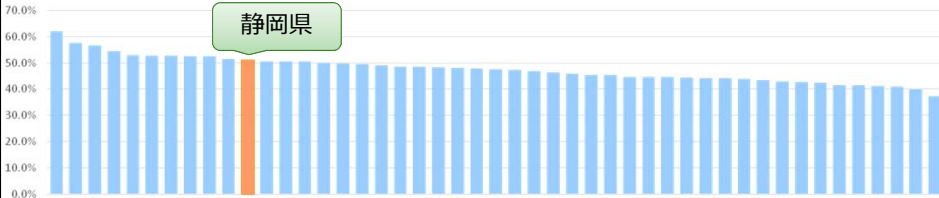
静岡県の高齢化の状況

| (各年4月1日現在) | 平成17年 | 平成27年 | 平成37年 |
|--------------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 3,863,273人 | 3,775,243人 | 3,480,333人 |
| 高齢者人口 (65歳以上人口) | 765,035人 | 1,011,691人 | 1,101,284人 |
| うち75～89歳人口 | 314,545人 | 431,625人 | 557,190人 |
| うち90歳以上人口 | 30,982人 | 53,473人 | 97,408人 |
| 高齢化率 | 19.8% | 26.8% | 31.6% |

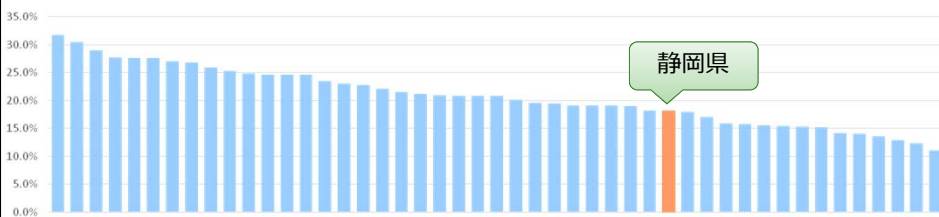
※実績：静岡県「高齢者福祉行政の基礎調査」より、推計：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計」より

H26年度 都道府県別受診率・実施率

■ 特定健診受診率（静岡県51.2% 全国11位）



■ 特定保健指導実施率（静岡県18.2% 全国33位）

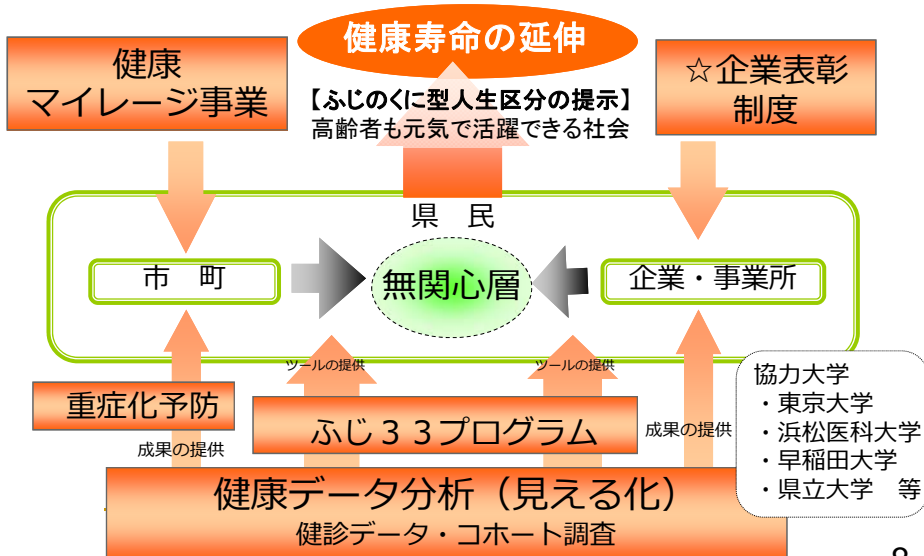


※ 厚生労働省 特定健康診査・特定保健指導に関するデータより

7

これまでの健康づくり事業

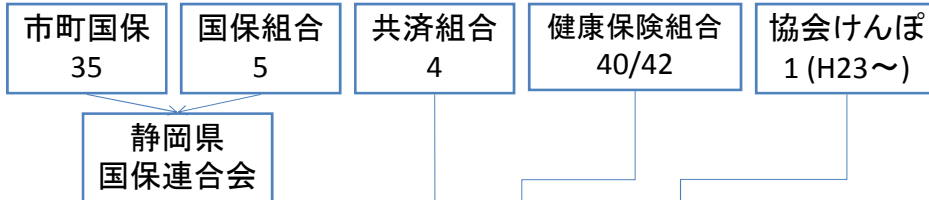
健康長寿プロジェクトの概要



8

特定健診データ分析

静岡県内の医療保険者



65万人分のデータが集結！

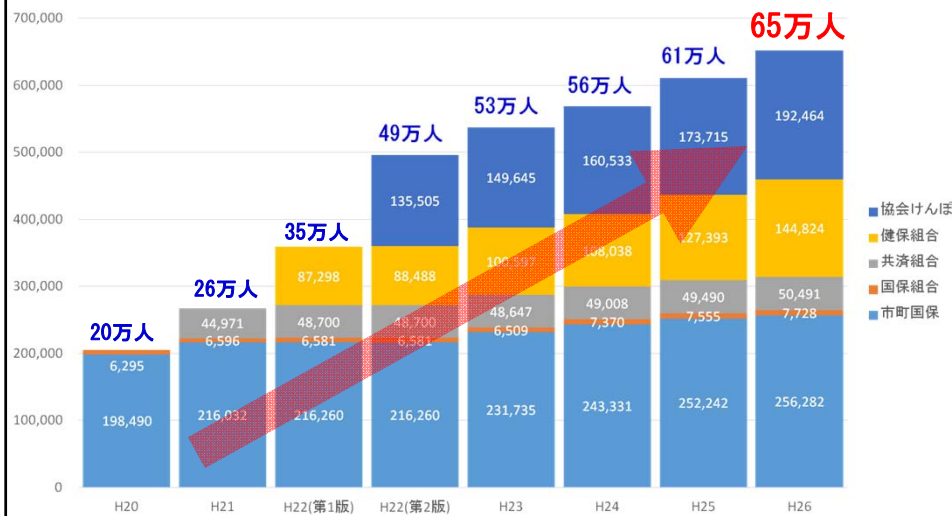
静岡県健康増進課総合健康班
(静岡県総合健康センター)

分析・評価・冊子作成
分析結果の公表・施策への反映

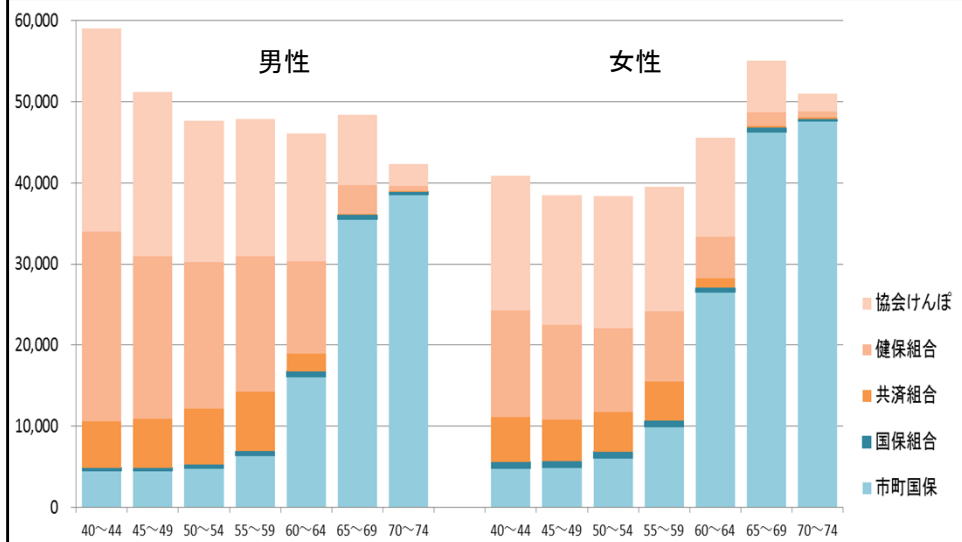
地域・保険者による健康課題の違いが明らかに！！

平成26年度特定健診分析対象者数

受診者の増加 + 協力医療保険者の増加



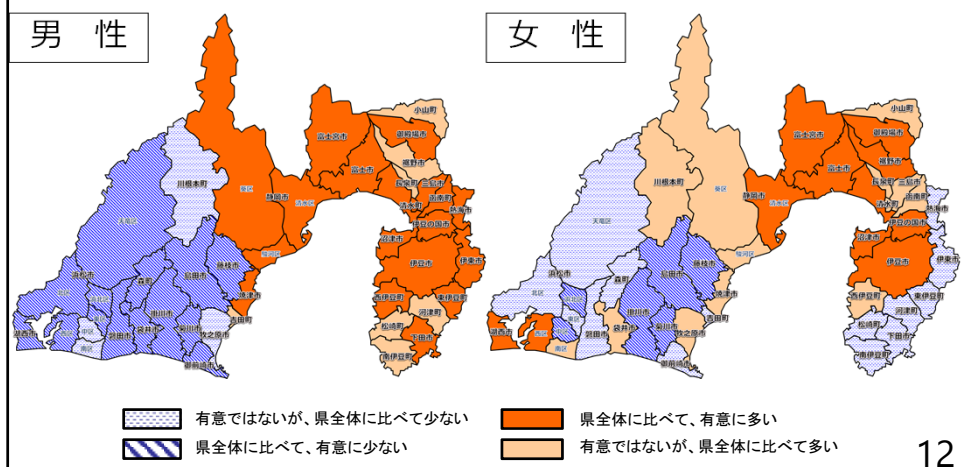
平成26年度特定健診分析対象者数（内訳）



見える化①（65万人分データの分析）

H26特定健診：メタボ該当者

県東部でメタボ該当者が多い

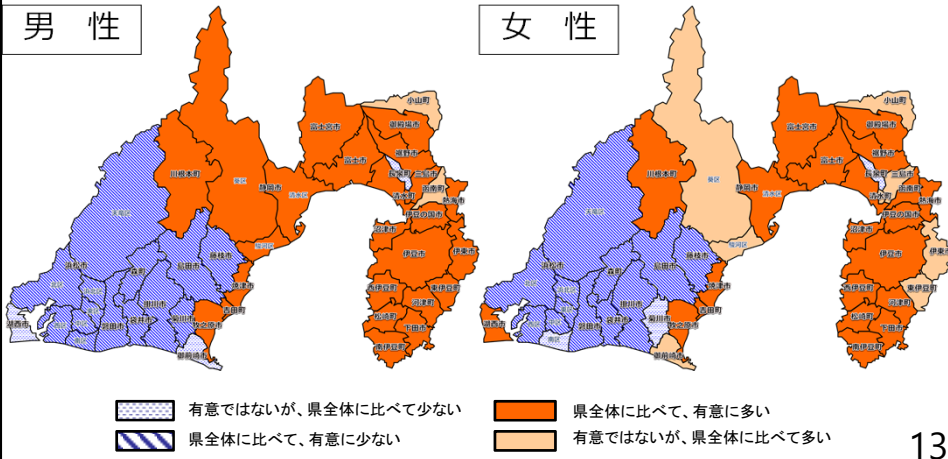


H26特定健診：高血圧症有病者

県東部と県中部の一部で高血圧症有病者が多い

男性

女性



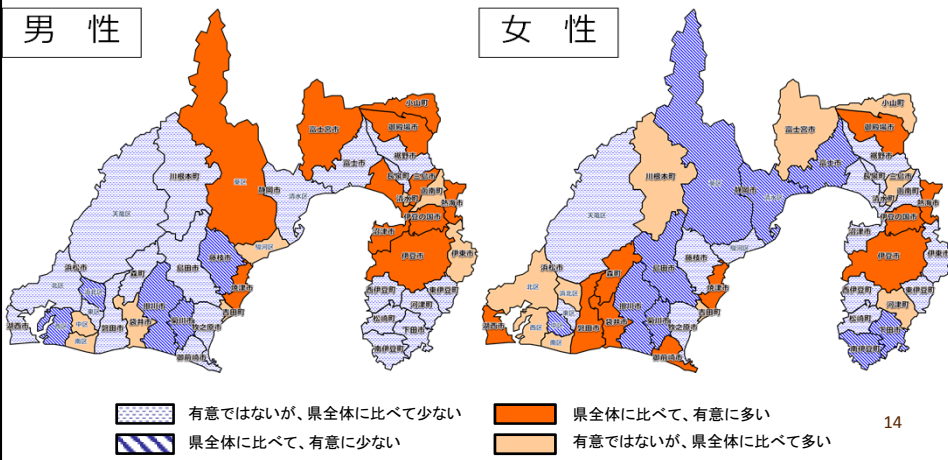
13

H26特定健診：糖尿病有病者

男性は県東部で、女性は県東部と県西部で糖尿病有病者が多い

男性

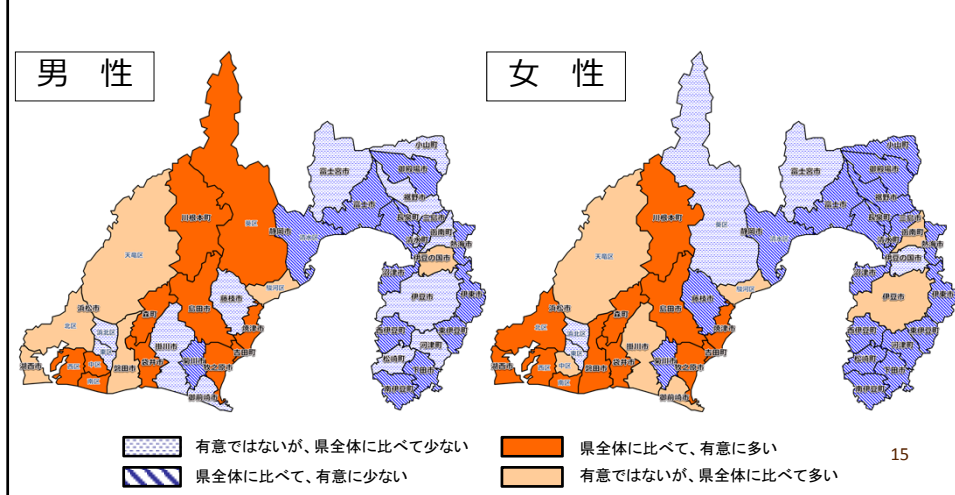
女性



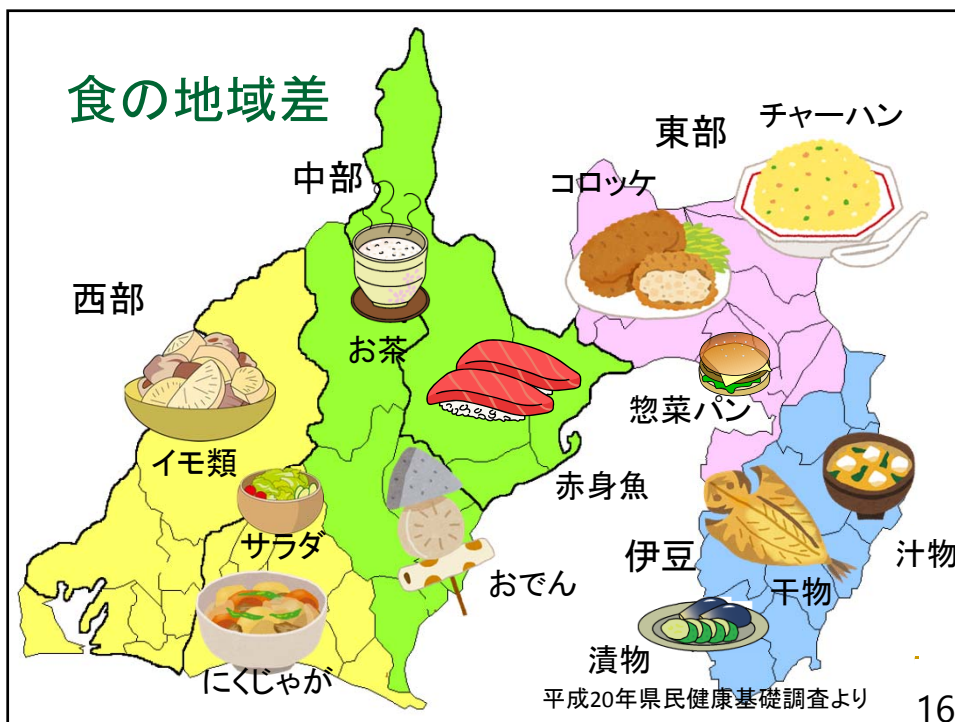
14

H26特定健診：糖尿病予備群

県西部で糖尿病予備群が多い

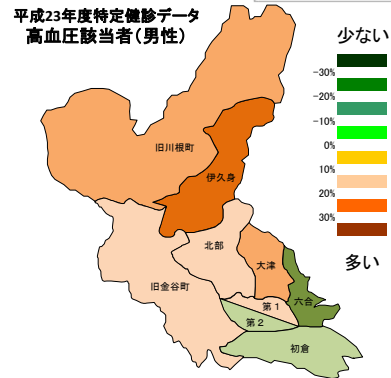
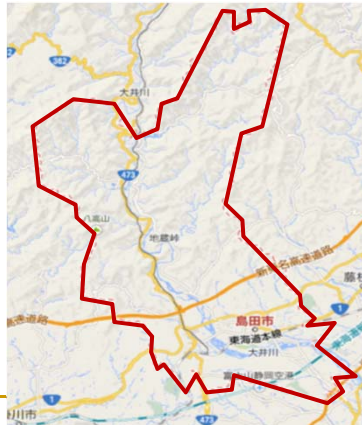


食の地域差



②-8地区別分析の例(島田市)

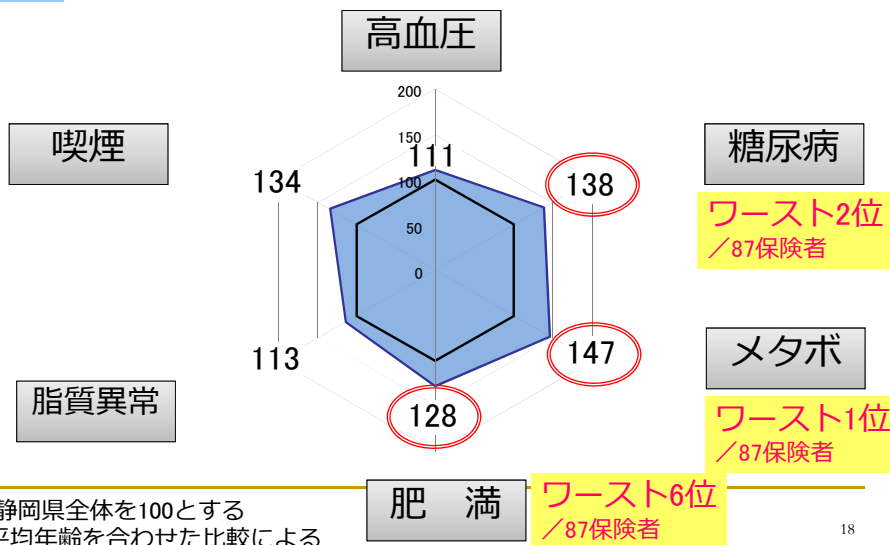
- 市健康増進計画の検討資料に使用
- 地区別の住民向け健康指導に活用



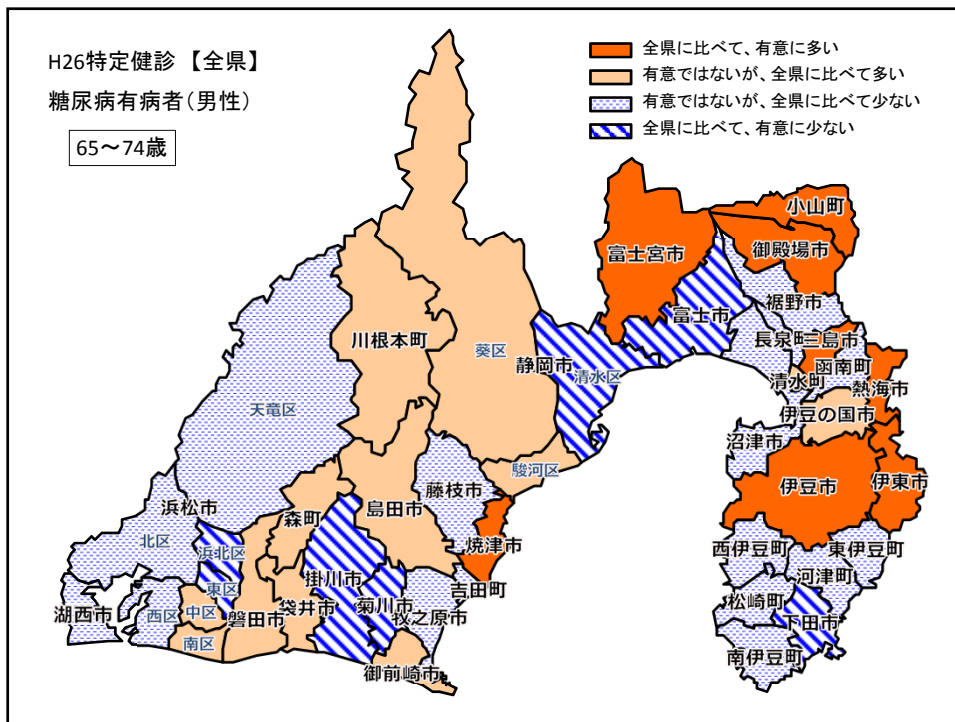
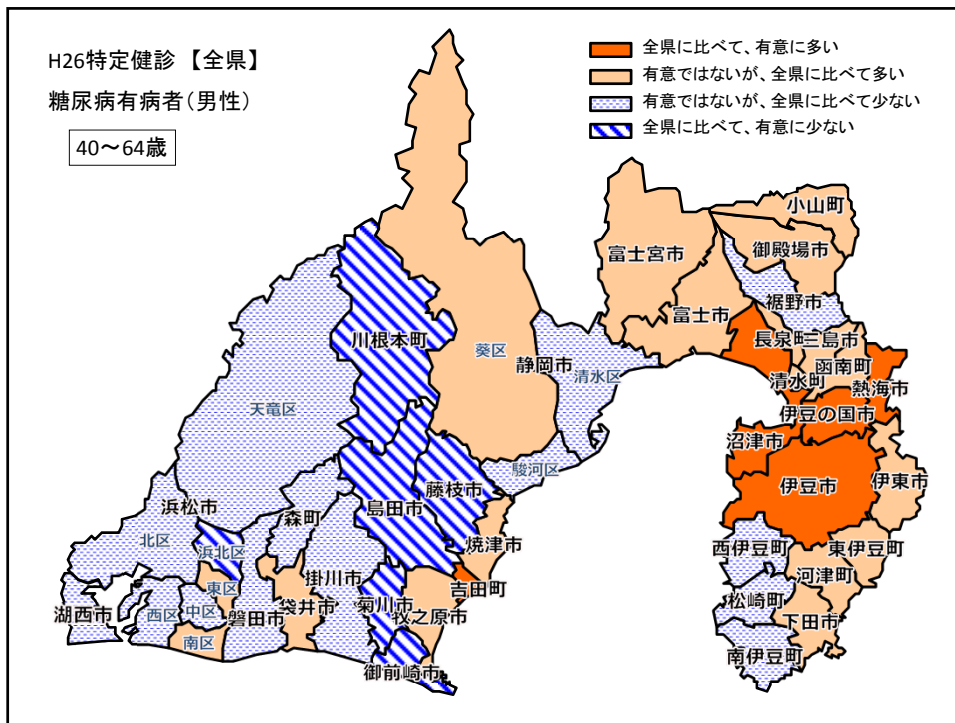
17

1-7保険者別分析の例

男性 A健康保険組合： 肥満、メタボ、糖尿病が多い

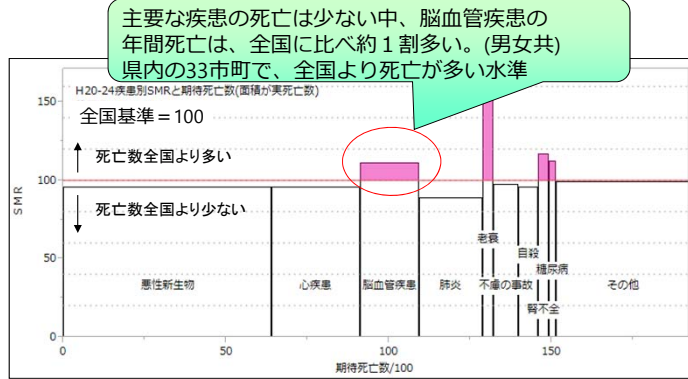


18



2-6 減塩55プログラムの開発

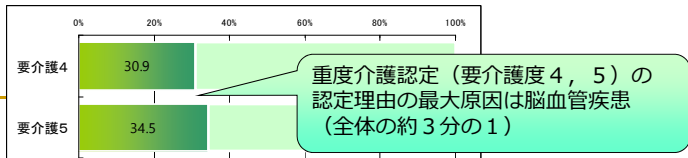
脳血管疾患による死亡（H20-24静岡県死因別SMR・死因別死亡数）



全国水準まで抑制

脳血管疾患の抑制により、62年の健康寿命の延伸

脳血管疾患による介護認定の状況（H25国民生活基礎調査・介護認定理由）



1割減少

23

②-1 健康マイレージ事業

- 県と市町が協働して実施する健康づくりの特典

カード提示により、協力店舗で特典



1ヶ月の健康づくりを実施すると市町からカードが発行される



すし、クーポン券、レシピ本、お菓子、ポイントサービスなどの特典

24

②-2 健康づくりインセンティブ

お得、面白い、おいしいがキーワード

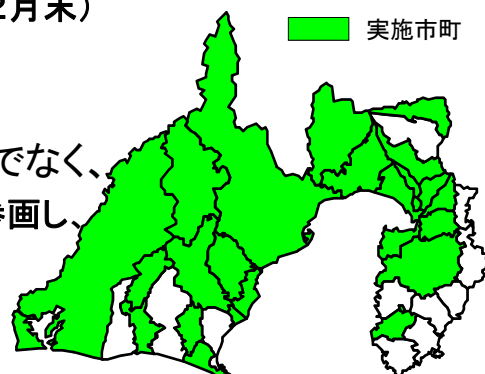


25

②-3 健康マイレージ事業の広がり

- 25年度は7市町→29年度は26市町
- 健康いきいきカード取得者は約30,668人(H28年12月末)
- 協力店舗数は866箇所(H28年12月末)
- 各市町の健康部門だけでなく、商工・企画・観光部門も参画し、

健康づくりを
地域づくりに



26

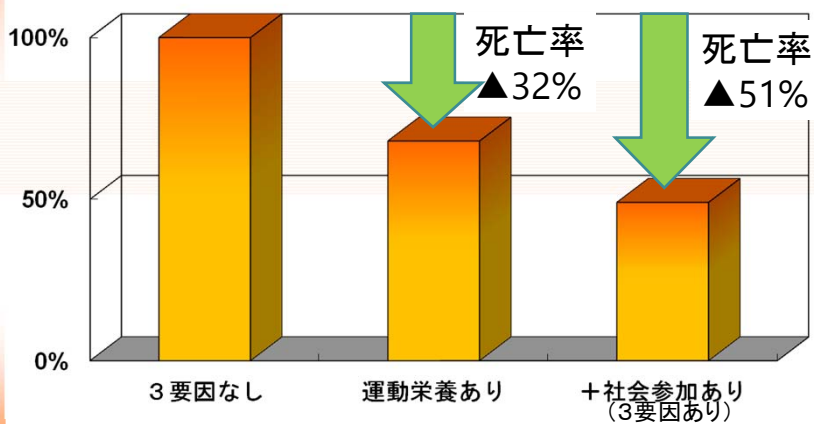
高齢者生活実態調査(H11～)

- 調査概要
 - 県内在住の高齢者 約22,000人
 - 郵送による質問紙調査
 - 生活習慣、健康状態、社会活動状況等の設問
 - 平成11, 14, 17, 20年に調査実施(9年追跡)
- 主な成果(死亡率低下要因)
 - 運動・身体活動
 - 緑茶摂取
 - 運動+食生活+社会参加 等

27

運動・栄養・社会参加と長生き

- 運動・栄養・社会参加で、死亡率が約半分



* 性別、年齢、体格指数、喫煙状況で調整したハザード比

28

③-1 いつでもどこでも行える健康づくり
 「ふじ^{サンサ}33プログラム」とは

| | |
|---|-------------------|
| ふ | 普段の生活で |
| じ | 実行可能な |
| 3 | 「運動」・「食生活」・「社会参加」 |
| 3 | 3つの分野の行動メニューを |
| 3 | 3人一組で、まずは3か月間 |
| | 実践により、いつでもどこでも |
| | 気軽に実践ができる |

継続率
93.6%



健康寿命のさらなる延伸を目指して

「しずおかまるごと健康経営」プロジェクトの推進

県民の健康寿命の更なる延伸を経営的な視点から考え、戦略的に健康づくりを実践する。

コンセプト

静岡県で暮らすと元気になれる
 【働いてよし、住んでよし】



「しずおかまるごと健康経営」プロジェクト ①

職場における健康経営の強化 ⇒

働き盛り世代の生活習慣病予防

○健康づくりの応援

- ・従業員の健康づくりの大切さについて伝える講演会の開催
- ・企業とのネットワーク会議を設立
- ・企業の健康づくりを応援するための情報発信



○人材育成・取組支援

- ・地域住民等へ健康に関する情報を伝える「健幸アンバサダー」を養成
- ・優良事業所の表彰、好取組の情報発信
- ・健康づくり推進事業所宣言事業所の取組支援
- ・社内食堂等におけるヘルシーメニューの提供支援



○脱メタボモデル創出

- ・内臓脂肪測定器等を活用し、本人に分かりやすく見える形で伝えることで、自分の健康に関心を持って行動変容につなげるための事業を実施
(メタボ該当者予備群の占める割合が高いモデル事業所)



31

「しずおかまるごと健康経営」プロジェクト ②

地域における健康経営の促進 ⇒

よい生活習慣を身につける
+
こどもから大人への働きかけ

○こども版ふじ33プログラムの作成

- ・こどもの頃からの3要素「運動」「食生活」「社会参加」の普及
- ・アプリによる生活習慣の学習、将来像の見える化
- ・こどもだけでなく家族と一緒に実践



32

健康づくり活動に関する知事褒賞

働き盛り世代である社員の健康増進、生活習慣病予防等のため、健康づくり活動に積極的に取り組み、今後もその活動が期待できる企業等を表彰する制度



平成29年1月17日(火)
表彰式及び取組事例発表

○過去の受賞事業所の状況
(平成24年度に制度創設)

| | |
|--------|-------|
| 平成24年度 | 5事業所 |
| 平成25年度 | 5事業所 |
| 平成26年度 | 8事業所 |
| 平成27年度 | 8事業所 |
| 平成28年度 | 5事業所 |
| 計 | 31事業所 |

健康づくり推進事業所宣言

企業が従業員の健康に配慮することは、経営面に大きな効果が期待できます。

健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践しましょう！



H29年1月現在 宣言事業所 96事業所

「国保改革に向けて都道府県、
市町・保健師は何を行うべき
か」